

# たちだより 第22号



ご利用様やご家族様の  
思い描く生活が実現できる  
よう、看護師や理学療法  
士がご自宅へ訪問し、在宅  
生活をサポート致します。  
お気軽にご相談ください。

## 長年利用して頂いている利用者様

《平成17年より15年間ご利用》

母の心臓手術の後からずっと入浴介助をお願いしております。以前、母が腰を骨折してしまった時も、適格な指示の電話を私に下さり、慌てることなく行動することが出来ました。

8年前に亡くなった父も、タッチさんにお世話になっておりました。タッチの皆さんは、いつも感じ良く、話を聞いて下さって、父も母も訪問日を楽しみにしておりました。現在一人暮らしの母も、大変安心しております。これからも宜しく  
お願い致します。

T様の娘様

《平成20年より12年間ご利用》

タッチさんには週3回お世話になっております。朝の元気な挨拶から気持ち良く始まり、きめ細やかな処置を行って頂き、安心してお任せしております。家族の目の届かない所まで診ていただき、昨年脳梗塞になっている所をいち早く気付いて下さり無事入院、大事に至らなかった事もありました。心から感謝しております。これからも今まで同様宜しく  
お願い致します。

K様のお嫁様

# 100歳を迎えて ～長寿の秘訣～

祝

～百歳を迎えて感想・気持ち～

昔から体が弱かったので100歳迄生きると思わなかった。(ご本人)

～タッチを利用して～

タッチさんは母の昔の事、デイサービスでの事など聞いて下さり、色々な話をして下さるので楽しそうで元気です。私も不安や困った時には相談にのってもらいアドバイスをしていただき、とても心強く感謝しています。食事はお粥とおかず柔らかい物3品、フルーツなど3食すべて完食しています。(娘様)

H様、娘様



気丈な母は、戦後の間もない時、旅館を開業しました。女将として華々しくデビューしたそうです。開業祝いのイベントでは当時の花形スター歌手の“田畑義郎”や“チンドン屋”の盛り上がりがあったそうです。戦中・戦後の一世紀を生き抜いた母からは、旅館という教室を介し、“おもてなし” “気配り” “目配り” “心配り” “を子ども心ながらも感じ取っていました。唯一誇れることは、誰からも後ろ指を指されることのない人間に育てて頂いたことが、何よりもの感謝であり最大の宝物です。母へは感謝あるのみです。

N様の息子様



母は大正9年に生まれました。一男一女の子供をもうけ、専業主婦として生活を楽しんでいました。58歳まで14年間、保母として保育所に勤務し、退職後は70歳まで母子福祉協会の役員に就き、皆様からの大きな信頼を得て活動していました。79歳より大宮に住む長男一家と同居。演歌や演劇が好きで、大宮ソニックホールには度々足を運び楽しむ一方で、健康のため、近くの公園までの散歩を毎日欠かしませんでした。90歳を過ぎてから足腰が衰え始め、93歳から介護生活に入り、タッチさんのお世話になっています。好き嫌いはあるものの、三度の食事を摂り、自分で消化出来ています。長生き出来ている秘訣です。

K様の息子様



訪問看護ステーション・タッチ

TEL : 048-646-4701 FAX : 048-646-4700

Emai : [touch@nishiohmiya-hp.or.jp](mailto:touch@nishiohmiya-hp.or.jp)